



学校教育の「これから」を検討しています

子どもの大幅な減少に対応するため、『学校教育の在り方検討委員会』を中心に、小学校の統合再編について具体的な検討を進めています。
(これまでの検討内容は、過去の広報みなのと町ホームページに掲載しています。)



町ホームページ

アンケート調査のご協力ありがとうございました

「皆野町 学校教育の在り方に関する保護者アンケート調査」を実施したところ、多くのかたからご回答いただきました。

今後の検討の参考にさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

(アンケート結果は、後日、広報みなのや町ホームページで公開する予定です。)

検討の状況をお知らせします

前回に引き続き、検討委員会での意見の一部を紹介します。
(検討中の内容であり、決定事項ではありません)



学校の将来像について(望ましい姿・課題)

学級編制	各学年2学級・20人程の学級がよい。複式学級をつくらないことが望ましい。
学校行事	特色ある地域学習や行事を継続すべき。統合後は活動場所への移動手段が課題になる。
通学	徒歩で30分以上かかる場合は、スクールバス乗車可としたらどうか。 スクールバス導入は、運転手の人材不足や費用面の課題がある。
施設・設備	(避難所にもなっているので)体育館にエアコンを設置してはどうか。
地域	お祭りなど地域行事には、地域や学区を超えて参加できるとよい。 地域人材の高齢化により、学校応援団などボランティアの担い手不足が懸念される。
部活動	地域クラブ活動へ移行し、地域のかたと関わっていくことが望まれる。 生徒の興味関心に沿った活動や、皆野独自の活動ができるとよいのでは。
小中連携	小中兼務教員の配置や、小中教員間の交流、小中合同行事などできるとよい。 各教科の学習の充実、中1ギャップ解消などの効果が見込める。
制服・学用品	ジャージを小中で統一してはどうか。 統合に伴う保護者の費用負担が増えないようにすべき。
PTA活動	統合して児童数(家庭数)が増えると、保護者一人あたりの負担は減る。 家庭数が少ない地区があり、地区役員の決め方には工夫が求められる。